



えり高進路だより

北海道えりも高等学校
進路指導部 第5号
発行：令和8年1月30日
文責：金枝 翔太

令和8年度 大学入学共通テスト 予想平均点



1月19日に河合塾が公開した共通テストの予想平均点です。

※本校の生徒が受験した科目のみ記載します。その他の科目はQRから確認してください。

	英 (R)	英 (L)	国語	数ⅠA	数ⅡBC	歴総 日探	歴総 日探	公共倫理
全国平均 (前年比)	63 (+5)	55 (-6)	116 (-11)	47 (-7)	54 (+2)	61 (+5)	61 (+5)	64 (+4)

公共 政経	地総	歴総	物基礎	化基礎	生基礎	物理	化学	文6教科	理6教科
64 (+1)	24 (+2)	25 (0)	35 (+10)	29 (+2)	36 (+5)	46 (-13)	57 (+12)	593 (-27)	600 (-33)

本校からは4名が受験しました。科目によって受験数が異なりますが、文系6教科、理系6教科どちらも前年度の平均を下回っています。全体として前年度(2025)に比べてやや難化傾向であったと評価されています。1、2年生の皆さんは、進路を見据えて早めの準備対策を行ってください。

分析とまとめ



今年度の大学入学共通テストの問題と解答を、朝日新聞を含む新聞各社が掲載しています。また、さまざまな予備校が科目別の難易度分析を公表していますので紹介します。

○国語

複数の文章や資料を関連付けて読み取る力が強く求められました。評論では論理構造の理解、小説では場面理解や人物の心情把握が重要で単純な読み取りでは正解しにくい設問が多く見られました。選択肢の吟味に時間を要する問題が多く、全体としてやや難化したとされています。

○数学

基本的な知識や公式を前提としつつ条件を正確に読み取り、筋道立てて考える力が問われました。計算力だけではなくグラフや図、設定された状況を理解する力が必要で、思考力を重視した出題となりました。基礎力の差が得点差に繋がりと指摘されています。

○英語

英語では、リーディング・リスニングともに情報処理量の多さが特徴でした。長文を素早く正確に読み、必要な情報を取捨選択する力や、語彙や文法の知識だけでなく、実際に英語を使って理解する力が重視されたと分析されています。

※河合塾・駿台予備学校等の分析資料を参考

私の話



今年度から進路を指導する立場となり感じていることは、自身の進路に関する知識不足です。

私は小学校 3 年生から大学 4 年生まで野球を続けていたので、人生の選択の中心には常に野球がありました。勉強は人並みにできればそれ以上を目指すことはありませんでしたし、面倒臭いことには手を付けず、野球だけを頑張る日々でした。進路決定の際は、野球以外の選択肢がないので 3 年生になってから焦りだす、そんなことを中学校・高校と繰り返していました。

選択肢を増やす



教員という職に就いた今、過去を振り返ってみて、唯一「間違っていない」と思えることは、自身の可能性と選択肢の幅を狭めなかったことです。プロ野球選手は誰もが就ける職ではありません。夢が叶わなかったときにどうするかを考えたときに、私の好きなことや得意なことは体を動かすこと、スポーツをすることでした。そこで、プロ野球選手も目指すことができ、体育やスポーツについても学べる大学に進学することにしました。ここで皆さんに問いかけます。

Q スポーツに携わる職業は何種類あると思いますか？

①約 50 種類 ②約 100 種類 ③約 150 種類 ④統計値を出せない

大学に入学してしばらくは、プロ野球選手以外に就きたい職が見つからなかったので「とりあえず」という考えでさまざまな資格を取れる授業、コースを選択しました。そこで学んだのが先ほどの問いの答えでもある、スポーツに携わる職業の種類は「④統計値を出せない」ということ……

スポーツ関連の職は選手・指導者・運営・ビジネス・医療・分析・マーケティングなど多方面にまたがるため、労働統計上の 1 つのカテゴリーとして明確に分類できないそうです。それはつまり、スポーツに携わりながらお金を稼ぐ方法は無限にあるということ。

大学 2 年生の冬、選手生命を絶たれる大きな怪我をしてから、トレーナー、スポーツアナリスト、スポーツメーカーの社員などさまざまな分野に興味を持ち触れていく中で気が付いたことがあります。

「やりたいことが見つからないは言い訳」だったこと、



「やりたいことが見つからないのではなく知らないだけ」ということ。

結果的に 1 番興味を持つことができ、やりがいを感じられた教員という職に就きましたが、そう感じることができるのも、多くのことに興味を持ち自身の選択肢を増やせたからだと思います。その経験がなかったら皆さんに出会うことも、今の楽しい生活もありません。

進路選択で大切なことは早く決めることではありません。「**知ること、調べること、考えることを通して、選択肢を増やしていくこと**」です。気づいたときには手遅れということをよく聞きます。皆さんは、今のうちから何事にも、とりあえずやってみてください、そして多くの世界に触れ自分の可能性を広げてください。私は、皆さんの進路活動をもっともっとサポートできるように勉強を続けます。